

(蓄電池設備)

火災予防上支障がないと認める構造を有する  
キュービクル式の蓄電池設備適合チェック表

確認者 会社名

名前

④

項目		内容	機器状況	適合	
外	材料	鋼板又はこれと同等以上の防火性能を有するものであるか	材料[ ]		
	板厚	床面部分以外	1.6mm (屋外用のものは、2.3mm) 以上であるか	板厚[ ]mm	
		床面部分	板厚は1.6mm (屋外用のものは、2.3mm) 以上であるか、板厚の基準を満たさない場合は、コンクリート造又はこれと同等以上の防火性能を有する床に設けるものであるか	板厚[ ]mm 若しくは位置[ ]	
	開口部	防火戸 (網入りガラス入りは不燃材料で固定) 以上であるか	[ 適 ・ 否 ]		
	固定	床に容易に、かつ、堅固に固定できる構造のものであるか	[ 適 ・ 否 ]		
	すき間	直径10mmの丸棒が入るような穴又はすき間がないか (配線の引込み口及び引出し口、換気口等も含む)	最大すき間 [ ]mm		
	箱	外部露出設置可能機器	表示灯	カバーの材料は難燃材料以上であるか	[ 適 ・ 否 ]
配線用遮断器			金属製のカバーが付いているか	[ 適 ・ 否 ]	
スイッチ類 (切替スイッチ含む)			難燃材料以上であるか	[ 適 ・ 否 ]	
電圧計			ヒューズ等で保護されているか	[ 適 ・ 否 ]	
上記の他、電流計、周波数計、引込み口、引出し口、換気口及び換気装置以外の露出機器はないか			[ 適 ・ 否 ]		
上記について屋外に設けるものは、雨水等の浸入防止措置が講じられているか			[ 適 ・ 否 ]		
機器収納状況	蓄電池、充電装置等の機器が外箱の底面から10cm以上離れているか、若しくはこれと同等以上の防水措置が講じられているか		底面から [ ]cm ・防水措置		
	鉛蓄電池を収納するものは、鉛蓄電池の存する部分の内部に耐酸性能を有する塗装が施されている、若しくはシール形蓄電池を収納するものであるか		[ 適 ・ 否 ]		
	蓄電池を収納する部分と他の部分とを不燃材料で区画されているか		[ 適 ・ 否 ]		
	充電装置と蓄電池を区分する配線用遮断器が設けられているか		[ 適 ・ 否 ]		
点検機器	蓄電池の充電状況を点検できる自動復帰形又は切替形の点検スイッチが設けられているか		[ 適 ・ 否 ]		
次の換気装置が設置されているか、若しくは換気設備を設けなくても温度上昇及び爆発性ガスの滞留のおそれがないか			[ 適 ・ 否 ]		
換気装置	開口部	自然換気口の開口部の面積の合計は、外箱の1の面につき蓄電池を収納する部分は3分の1以下、充電装置等を収納する部分にあつては、3分の2以下であるか	[ 適 ・ 否 ]		
	機械式	自然換気口不足の場合、機械式換気設備が設けられているか	[ 適 ・ 否 ]		
	換気口	換気口には金網、金属製がらり又は防火ダンパーが設けられているか	設置装置 [ ]		

1 青森地域広域事務組合消防本部の「消防長が火災予防上支障がないと認める構造を有するキュービクル式変電設備等の基準」に適合するものであるかについて判定するものである。

2 「機器状況」欄には、設置しようとするキュービクルの値等を記入すること。

3 「適合」欄には、「内容」欄に適合している場合は○、不適合の場合は×、非該当の場合は／を記入すること。